

《私は、全教職員と協力して、学校経営を行います。》

- ① 「児童第一主義」 ⇒ 一人一人の児童の成長を保障する学校経営に徹する。
- ② 「教師第一主義」 ⇒ 直接、児童の指導にあたる教職員の共通理解、共通実践を基盤とした教職員の【和】と【指導力】による学校経営に徹する。
- ③ 「地域第一主義」 ⇒ 保護者や地域の皆様の声に、耳を傾け、開かれた学校の実現をめざす学校経営に徹する。

平成27年度 三春町立岩江小学校 学校経営ビジョン

教育目標 心豊かな子どもの育成

スローガン「**い**きいき **わ**クワク **え**顔いっぱい 岩江っ子」

《全教職員が、協力し、下記のことについて努力します。》

【めざす学校像】

- ① 児童一人一人が楽しく、力いっぱい運動や学習ができる学校
- ② 知恵を出し合い、自分たちで創造し、実行する喜びの持てる学校
- ③ 環境が常に整備され、整理整頓の行き届いた学校

【めざす教師像】

- ① 明朗で、子ども好きな教師でありたい。
- ② 研修に励み、子どもを活動させる教師でありたい。
- ③ 教職員不祥事を根絶し、地域及び県民から信頼される教師でありたい。

【めざす児童像】

思いやりのある子ども

本気で学ぶ子ども

たくましい子ども

【本年度の重点目標】

《きまりを守り、思いやりのある行動がとれる子ども》

- I 善悪の判断ができ、きまりを守ることができる子ども
- II がまん強く、最後までやり通す子ども
- III 生命を大切に、家族や友だちを思いやる子ども
- IV 奉仕の心を持ち、自主的に行動に移せる子ども
- V 気持ちの良いあいさつができる子ども

《主体的に学習に取り組み、友だちと学び合う子ども》

- I 他の考えをきちんと聞き、自分の考えと比較できる子ども【聞く】
- II 自分の考えを持ち、わかりやすく相手に伝えることができる子ども【話す】
- III 話し合い活動を通して、友だちと学び合える子ども
- IV 進んで読書する子ども
- V 家庭学習に自主的に取り組む子ども

《進んで身体をきたえ、健康な身体を作る子ども》

- I めあてをもって、体力や運動能力の向上に取り組める子ども
- II 学校のきまりを守り、安全に生活しようとする子ども
- III より良い生活習慣を身につけ、健康で過ごそうとする子ども
- IV 身の回りの衛生に気をつけて生活できる子ども
- V 食の大切さを知り、バランスの良い食生活ができる子ども

【具体的な手だて】

- (1) 生徒指導委員会を定期的開催し、生徒指導体制を充実させ、生徒指導事案や不登校、や「課題共有カード」等での共通理解と共通実践
 - ① 職員打合せや「課題共有カード」等での共通理解と共通実践
- (2) 学校教育活動全般を通して、「承認」「賞賛」「奨励」の声かけを全職員で行うとともに、自己有用感を感じる活動を数多く計画し、実践する。
 - ① 「あったか言葉」「あったかしぐさ」の奨励・賞賛
 - ② 「さん」「君」づけの徹底
 - ③ 自ら進んで掃除のできる縦割り班清掃の充実
 - ④ 縦割り班遊びやボランティア活動の計画・実施
- (3) 地域、保護者との交流やふれあいを促進し、ふるさと「岩江」の理解や郷土愛を育む。
 - ① PTA学年活動の充実、学校運営協議会の運営と広報
 - ② 幼稚園、中学校、寿楽会、地元福祉施設・郷土史跡等の訪問・交流
- (4) 気持ちの良いあいさつ、場面に応じたあいさつを、教職員が手本となり、実践させる。
 - ① キャッチフレーズ「先に、笑顔で、元気よく」の実践
 - ② 家庭、地域へのあいさつ運動の啓発

- (1) 学習習慣を定着させるために、繰り返し指導する。
 - ① 「早寝・早起き・朝ごはん」週間の設定・広報と指導の徹底
 - ② ノーディスプレイ運動（5のつく日を基本とする）の広報と徹底
 - ③ 家庭と連携、ゲーム、スマホ、SNS使用についての約束づくり
 - ④ 学習促進、家庭との情報交換のための「学習ファイル」の活用
- (2) 個に応じた学習資料を準備し、基礎・基本を定着させる。
 - ① 「学習のテスト」「定着確認シート」「家庭学習の進め方」等の活用
 - ② 「総合学力調査」の結果の活用と個に応じた指導
- (3) 授業の中で、自分の考えを表現し、他と学び合うことの喜びを体感させる。
 - ① ユニバーサルデザインへの考えに基づいた指導
 - ② 発達段階や児童の実態に応じた「聞き方・話し方」の指導の徹底
 - ③ 全学年共通のノートを使い方の指導と徹底
 - ④ 目的を持った小グループ学習、習熟度別学習の積極的な導入
- (4) 朝の読書、国語の指導等を通して、読書活動を推進する。
 - ① 学習センターの積極的な活用と新刊図書購入
- (5) 家庭との連携を図り、学びのサイクルづくりをする。
 - ① 《授業→家庭学習→朝学習》のサイクルの継続

- (1) 体育の時間に、「走を中心とした準備運動」、「運動身体プログラム」を取り入れる。
- (2) 朝の時間（8時10分前）や業間の時間に、マラソンやなわとびの運動を全校で取り組む。
- (3) 身の回りの整理整頓、片付けの習慣を身につけさせる。
 - ① 縦割り班清掃の徹底、環境の整備（掲示の種類、時期、管理の徹底）
- (4) 学校での過ごし方や公共物の使い方について、繰り返し指導する。
 - ① 「よい子の一日」「学習のきまり」の活用
- (5) 早寝早起き、歯みがき等の生活習慣を身につけさせる。
 - ① 「歯みがきカード」の活用と徹底
 - ② 「カラーテスター」の使用と保護者とともに歯科指導の実施
 - ③ 保健だより「スマイル」での保護者への広報と授業での活用
 - ④ 「生活チェックシート」での調査と結果の活用
- (6) 食の大切さや感謝の心を育てる。
 - ① 好き嫌いの軽減、食事のマナーの指導
 - ② 楽しい給食にするための学年での工夫
 - ③ 食育だより「もりもり」での保護者への広報と授業での活用

学校教育を支える「家庭」・「地域」の目標と「信頼される学校づくり」

【家庭では】

- ① 「早寝・早起き・朝ごはん」を実行します。
- ② 家庭学習を見届けます。
- ③ 親子で、「会話・食事・読書」を楽しみます。
- ④ 言われて気持ちの良い言葉を使わせます。親も使います。「ありがとう」「ごめんなさい」「よかったね」「すごいね」

【信頼される学校】

- ① 不祥事防止と学校事故防止
 - ・ 服務規律の維持
 - ・ 高い倫理観と自律心の保持
 - ・ 全教職員の危機管理意識の高揚
- ② 専門職としての資質と能力の向上
- ③ 地域に開かれた学校づくり
 - ・ 子どもの指導を保護者・地域とともに
 - ・ 放射線対策を保護者・地域とともに

【地域では】

- ① 地域の子どもは地域でしつけます。（温かく・厳しく・声をかけ合って）
 - ② 地域や学校の活動に、進んで参画します。
 - ③ 岩江の良さを伝えていきます。
- ※ 岩江地域全体で、あいさつの声がひびく地域にします。